

## 有機系vs無機化合物系

## 薄膜太陽電池バトルロワイアル

Organic vs. Inorganic Compound Materials,  
Thin-film Solar Cell Battle Royale

2024年9月17日(火) 9:30 ~ 17:30 (予定)

録画配信, 名刺交換会あり

「低コスト, 軽量, フレキシブル, 高効率, 低資源消費」は, 以前の非晶質シリコンからカルコゲナイド, 近年のペロブスカイトに代表される有機材料, そして最近はⅢ-V族化合物単結晶に至るまで, 共通して訴えられる薄膜太陽電池材料の“特長”である。ほとんどの学会・研究会では材料別にセッションが別れており, 従って各々が味方の内で長所だけを主張することが多く, 使う用語の違いもあって短所には気付かない, あるいは口をつぐむことが散見される。よって, 太陽光発電のユーザーすなわち第三者には, 両者を同時かつ平等に比較検討するような場所がほとんど得られていないのが現状と考える。

そこで, ライバルを目の前にして, 自らの長所と相手の欠点を堂々と訴えて正当性や優位性を主張し合う, 聴衆という第三者に“面白かつ稀で貴重な”機会を提供するのが本シンポジウムの目的である。またそれぞれの研究開発担当者には, 自己側の長所だけでなく短所や欠けている部分を冷静に(再)認識し, その後の研究に資する情報とエネルギーを得ることも, 本シンポジウムのもう一つの目的である。結果的に, 切磋琢磨による薄膜太陽電池の研究開発や製品・産業, そして市場の成長に資する場となり, ひいては今後の再生可能エネルギーの普及・発展に繋がることを目指したい。

なお, この企画はIEEE PVSC国際会議における名物企画の日本版オマージュである。最新の薄膜太陽光発電技術・製品に興味をお持ちの方々のご参加と, 研究開発に携わる方々の一般講演への投稿を, 期待してお待ちしています。

## 招待講演者 / 講演題目 (敬称略, 順序は講演順と異なる)

宮坂 力 (桐蔭横浜大)	界面の分子工学で進化するペロブスカイト太陽電池
高本達也 (シャープ)	III-V化合物薄膜太陽電池シートの開発
尾坂 格 (広島大)	有機薄膜太陽電池の将来展望
菅谷武芳 (産総研)	HVPE及びスマートスタックによるⅢ-V族多接合太陽電池の低コスト作製技術
松井大祐 (パナソニック)	ガラス建材一体型ペロブスカイト太陽電池の開発
杉本広紀 (PXP)	薄膜太陽電池三兄弟は敵か味方か?
根上卓之 (立命館大)	無機化合物薄膜太陽電池とペロブスカイト太陽電池の得手、不得手
金光義彦 (京都大)	薄膜太陽電池のキャリア挙動は理解できているのか?



企画: 多元系化合物・太陽電池研究会

世話人: 今泉 充(三条市大, 代表)・柳田真利(物材機構)・石塚尚吾(産総研)・黒川康良(名古屋大)・荒木秀明(長岡高専)